

平成23年度 西日本弁理士クラブ若手会主催
知財ディスカッション 「弁理士実務 悩みの相談室」 開催報告

平成23年7月30日（土）に、「知財ディスカッション『弁理士実務 悩みの相談室』～現役弁理士のノウハウ公開。弁理士実務のココが訊きたい！？～」と題した研修を開催しました。休日であったにもかかわらず、32名の方にご参加いただきました。



今回は、「若手会らしさのある研修をやってみよう」という趣旨の下、実務上で生じる些細な疑問や他の弁理士が普段どのように日常業務を行っているか等の「小ネタ」に焦点を当てた、パネルディスカッション形式での研修としました。

パネルディスカッションは、「クライアント等から返答に困る質問をされた場合の対処」からスタートし、「『実施例は適当に書いておいてください』と言われた場合の対処」、「クレーム・明細書・図面の作成順序」、「審査官に電話するのはどんな時？」等、相談・受任編から起案編、中間編まで「他の弁理士がどのように対処しているのか気にはなるけど…」といったテーマを中心に繰り広げられました。



途中、会場の参加者の中でパネリストと同じような手法で業務をしている人が何割くらいいるかを確認する場面があったり、参加者の中からお勧めのソフトの紹介等もありました。中には、熱心にメモを取る方もいれば、「私も同じ考え」と言わんばかりに頷く方、「図面にそんな符号の付け方するのはおかしいやろ！」といわんばかりの顔をされている方等がおられましたが、皆さん、パネリストや他の参加者の意見と普段の自分の実務とを対比しながら、研修に参加頂けたのではないのでしょうか。



研修後には、パネリスト・参加者を交えての懇親会も開催し、25名の方にご参加頂きました。単に研修に参加するだけでなく、打ち解けた雰囲気の中で、日頃の実務で同じような悩みを抱える仲間とざっくばらんに話をする良い機会を提供できたと思います。

パネリストの皆様、および本研修にご参加・ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。